

Depicting the Lights and Modelling the Life

Belgium and Japan

児島虎次郎《和服を着たベルギーの少女》1910(明治43)年 油彩・キャンバス 高梁市成羽美術館



新潟県立近代美術館開館30周年

ベルギーと日本

2023 9.16[土] - 11.12[日]

開館時間 / 9:00~17:00 (観覧券の販売は16:30まで)

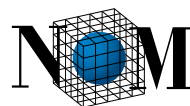
休館日 / 月曜日 (祝日の場合は開館、翌平日休館)

観覧料 / 一般1,200 (1,000) 円、大学・高校生1,000 (800) 円、中学生以下無料

* () 内は有料20名以上の団体料金 * 障害者手帳をお持ちの方は観覧料が免除になります。受付で手帳をご提示ください。

主催 / ベルギーと日本実行委員会、新潟県立近代美術館 共催 / 新潟日报社 助成 / (一財) 地域創造

後援 / ベルギー大使館、新潟県教育委員会、長岡市、長岡市教育委員会、長岡新聞社、NCT、FM新潟77.5、FMながおか80.7



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART
新潟県立近代美術館

〒940-2083 長岡市千秋3-278-14 TEL: 0258-28-4111
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

光をえがき、命をかたどる

KINBI
30TH
Anniv.

BANBI
20TH
Anniv.

Belgium and Japan

Depicting the Lights and Modelling the Life



- 左上から順に
1. 太田喜二郎《赤い日傘》
1912(大正元)年 油彩・キャンバス
新潟大学
 2. 武石弘三郎《裸婦浮彫》
1939(昭和14)年 大理石
新潟県立近代美術館・万代島美術館
 3. ルネ・マグリット《再開》
1965(昭和40)年 油彩・キャンバス
東京富士美術館
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPPartcom
 4. コンスタンタン・ムーニエ《攪練工》
石膏着色 個人蔵
 5. ウジェーヌ・ラルマンズ《小径》
1918(大正7)年 油彩・キャンバス 大原美術館
 6. エミール・クラウス《冬の果樹園》
1911(明治44)年 油彩・キャンバス
大原美術館

EVENT

関連催事

●リレートーク「つながる! 太田君と児島君と武石君」

滞欧米期の画家の作品を収集する目黒区美術館所蔵作家の太田喜二郎、地元出身として高梁市成羽美術館が館を挙げて顕彰する児島虎次郎、郷土作家として当館が所蔵する武石弘三郎。仲の良い友人同士でもあった芸術家の作品を所蔵する3館の学芸員により、リレートークを行います。
日時 / 9月16日【土】 14:00~15:30(開場13:30) **講師** / 目黒区美術館学芸員 山田真規子氏、高梁市成羽美術館学芸員 碓京子氏、当館学芸員 伊澤朋美
会場 / 当館講堂 **定員** / 165名 **参加方法** / 申込不要、直接会場にお越しください。参加無料。

●美術鑑賞講座「武石弘三郎の作品を訪ねる」

武石弘三郎はベルギー留学から帰国後、晩年に至るまで肖像彫刻やモニュメントの制作にたずさわりました。各地に建立されたこれらの作品をスライドで訪ねながら、武石の仕事を紹介します。
日時 / 10月7日【土】 14:00~15:30(開場13:30) **講師** / 当館学芸員 伊澤朋美
会場 / 当館講堂 **定員** / 165名 **参加方法** / 申込不要、直接会場にお越しください。参加無料。

●ミニレクチャー&作品実地見学会「友情の双像」

武石弘三郎のベルギー留学を支援した、兄・貞松と、外交官・堀口九萬一。二人は長岡の漢学塾でともに学んだ親友同士でした。二人の友情を讃え、武石により制作され、中之島若宮神社に設置された《友情の双像》を、ミニレクチャー後、現地にて見学します。
日時 / 10月21日【土】 10:00~12:00 **講師** / 当館学芸員 伊澤朋美
集合場所、ミニレクチャー会場 / 中之島コミュニティセンター(長岡市中之島800-1、アクセス方法は長岡市のホームページをご覧ください)
見学場所 / 若宮神社(中之島コミュニティセンターから、貸切バスで移動します)
定員 / 20名(先着順) **参加方法** / お電話にてお申込ください(TEL: 0258-28-4111 / 受付時間 9:00~16:00 / 受付開始 8月22日【火】 9:00~)参加無料。

●親子ふれあいデー

日時 / 9月24日【日】 9:00~17:00 *入館は16:30まで。
 中学生以下の子を同伴する保護者の観覧料が無料になります。子ども1人につき保護者2人まで。

◎イベントの詳細はホームページをご覧ください。

□開催中のコレクション展 第3期 9月12日【火】~12月17日【日】

- [展示室1] 近代美術館の名品・新収蔵品を中心に
 - [展示室2] 異国に渡った芸術家たち
 - [展示室3] 三芳悌吉 絵本の仕事一科学の眼差し
- *コレクション展をご覧になる場合、別途コレクション展観覧券が必要になります。

□会期中の共催展 共催:長岡造形大学、日本グラフィックデザイン協会

第25回亀倉雄策賞受賞記念展 岡崎智弘 / 三澤遥
 10月9日【月・祝】~10月22日【日】 2Fギャラリーにて開催

□次回企画展のご案内

尼崎市コレクション 白髪一雄 2024年1月13日【土】~2月25日【日】

□万代島美術館(新潟市)の展覧会 (TEL 025-290-6655)

イッタラ展 フィンランドガラスのきらめき 10月7日【土】~12月10日【日】

戦前、パリ留学が主流であった中で、少数ですが、ベルギー留学した芸術家がありました。画家の太田喜二郎と児島虎次郎、新潟出身の彫刻家・武石弘三郎です。

太田と児島は、ともにゲントの市立美術学校に通い、ベルギーの印象派の画家、エミール・クラウスからも学びます。武石は、ブリュッセル王立美術学校を優秀な成績で卒業し、帰国後は肖像彫刻の第一人者として活躍しました。戦前の日本で「炭坑夫の彫刻家」として人気のあったベルギーの彫刻家、コンスタンタン・ムーニエの日本への紹介でも知られています。この度は、この3人の作家と彼らに関連するベルギーや日本の作家の紹介に加え、当時の印刷物や展示などにも着目しながら、戦前の日本におけるベルギー美術の受容について探ります。

- 展示構成
- 第1章 光をえがく:ベルギーの印象派絵画と日本
 - 第2章 命をかたどる:ベルギーの彫刻と日本
 - 第3章 伝える・もたらす:ベルギー美術の紹介



交通案内

新幹線・在来線
 JR長岡駅下車

バス
 長岡駅大手口8番線:中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館」下車(乗車約15分)
 すぐ長岡駅大手口2番線:センタープラザ・日赤病院方面行「日赤病院前」下車(乗車約15分)から徒歩5分

車
 関越自動車道:長岡ICから約10分
 北陸自動車道:長岡北S.I.Cから約10分

*駐車場無料(駐車台数165台)

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART 新潟県立近代美術館

〒940-2083 長岡市千秋3-278-14 TEL: 0258-28-4111
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>
 Twitter: @niigata_kinbi Instagram: niigata_kinbi

